うと市議会だより

編集/議会だより編集委員会 発行/宇土市議会 平成23年5月15日発行 宇土市浦田町51番地 TEL 0964-22-1111 FAX 0964-22-6313 http://www.city.uto.kumamoto.jp



P2 東日本大震災への対応について

P2~3 平成23年第1回定例会

P4代表質問P5~11一般質問P12~14委員会報告

P15 議案・請願等の議決結果

P16 編集後記

5

東日本大震災への対応について

東日本大震災においてお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に対 しまして、心からお見舞い申しあげます。また、一刻も早い復興をお祈りいたします。

現在、宇土市では被災地となりました自治体に市職員を派遣するなど、様々な取り組みを行っておりま す。宇土市議会といたしましても、市と足並を揃えまして、出来る限りの支援を行ってまいりたいと考え ております。

今後も、 市民の皆様の声を市に伝えていくとともに、市議会としての支援活動等を行ってまいりますの ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

宇土市議会

平成23年

第1回定例会を3月2日から3月17日まで16日間の会期で開催しました。

市長提出議案として、平成23年度一般会計予算など予算関係16件、宇土市税条例の一部改正など 条例関係13件、人権擁護委員の推薦につき意見を求める人事案件2件、専決処分の報告及び承認1件 その他2件(市道路線の廃止・認定)が上程され、いずれも原案のとおり決定しました。

また、昨年の第4回定例会で、決算審査特別委員会に付託し、閉会中の継続審査としていました平 成21年度の一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算の11件を認定しました。

なお、議案の主な内容は下記のとおりです。

給資格要件を拡充するもの。

平成23年4月1日

重度心身障害者の医療費助成制

一度の受

増額補正。

を減額し、総額を4億7、812万円と歳入歳出それぞれ1、452万2千円歳入歳出それぞれ1、452万2千円歳入歳出長のでは、100円である。

【主な改正内容】 施行日

額補正。

する。主な内容は、

決算見込みによる減

産業の振興と雇用の促進を図るため、◆宇土市企業振興促進条例の一部改正件に該当しない重度の疾患者を加える。受給資格要件に、障害者手帳の取得要 加え、併せて市 |通用対象施設に情報サービス事業施設を 独自の奨励措置の

図るもの。

施行日

平成23年4月1

[主な改正内容]

>宇土市住民生活に光をそそぐ基金条例 例

金を創設するもの。 を受け、この交付金を管理するため、 に光をそそぐ交付金」が創設されたこと 地方の取組を支援するため、「住民生活 光が十分に当てられてこなかった分野生活において大事な分野でありながら、 (DV対策、 国の経済対策において、これまで住民の制定 自立支援対策等) に対する

対する整備資金利子補給条例の一部改予土市中小企業の店舗改装等近代化に

処分などについて規定基金の額、管理、運用の益金の 平成25年3月31日限りで失効 (残額)処理、

施行日 公布の日

国庫に返納)

≒域経済の活性化や定住人口の増加を図新築住宅の取得を税制面から支援し、▼宇土市税条例の一部改正

るもの。 【主な改正内容】 日の間に市内に新築した住宅について 平成23年1月2日から平成26年1月1 施行日 公布 0 É

も の。 限る。) 間)、 *宇土市重度心身障害者医療費助成に関 3年間(長期優良住宅にあっては5年 する条例の一部改正 固定資産税の1/2を減免する (床面積120㎡以下の部分に

> 償還に伴う資金借換えのための償還金の円とする。主な内容は、補償金免除繰上 を増額し、 担金不足分の増額補正。 円とする。主な内容は、 を増額し、 ◆平成22年度宇土市公共下水道事業特別 歳入歳出それぞれ1億750万3千円会計補正予算(第4号) 歳入歳出それぞれ6、 計補正予算(第3号) 総額を9億7、871万4千 総額を46億9、 療養給付費等負 219万7千円 510万5千

平成22年度宇土市国民健康保険特別会

主な改正内容 融資対象者に、 始する者を加える。 市内で新たに事業を開

施行日 平成23年4月1日

融資対象者を拡充するもの。 市内の起業家を支援することを目的に

円→30万円に増額(上限1、000雇用促進奨励金の額を1人当たり10 る。) 費の1/2を補助(上限情報サービス事業につい 操業開始の日までの研修に限 (上限100万円。 ては、 研修経

万万

村上 人権擁護委員候補者の推薦につき意見 を求めること 暎隆 研之(任期3年・ (任期3年・ 敬称略 敬称略)

平成28年度 一般会計当初予算

135億5,000万円 (134億3,139万2千円)

特別会計 (8 会計) 89億4,809万4千円 (86億6,742万8千円) 企業会計 (上水道) 5億9,457万4千円 (5億9,557万5千円)

※企業会計は、収益的支出と資本的支出の合計

※各予算の()内は、平成22年度6月補正後予算額

一般会計の予算総額は135億5,000万円で、前年度当初予算が市長選挙に伴う骨格予算だったため、6月の肉付け補正後の予算と比較すると、金額で1億1,860万8千円の増額となっています。

費 目 (歳出概要)			予算額 (千円)	歳出の主なもの	
議	会	費	224,045 (170,421)	議会運営に伴う経費	
総	務	費	1,290,094 (1,516,926)	地方バス路線維持対策事業、新電算システム経費、定住対策事業、まちづくり活動支援事業	
民	生	費	5,295,514 (5,147,403)	障害者福祉サービス事業、私立保育所運営費負担金、乳幼児等医療費助成事業	
衛	生	1 079 100 机坦姆沙市类 次ル博凯果市类 医克斯廷基ル特英市类 克萨克埃斯人名坦众		妊婦健診事業、浄化槽設置事業、廃棄物減量化対策事業、宇城広域連合負担金 (浄化センター)	
農林水産業費		588,233 (559,673)	走潟大河洲県営排水対策特別事業、水産資源回復基盤整備事業、地籍調査事業		
商	工費 305,388 中小企業等預託融資事業、悪質商法被害防止事業、市民会館観光案内所		中小企業等預託融資事業、悪質商法被害防止事業、市民会館観光案内所整備事業		
土	木	費	661,136 (702,452)	辺地道路整備事業、自然災害防止事業、市営住宅外壁改修事業、新幹線高架下駐車場 整備事業	
消	防	費	492,002 消防防災施設整備事業(耐震性貯水槽設置工事)、防災基盤整備事業、宇城広域 (475,058) 負担金(消防費)		
教	教 育 費 1,589,136 字土小学校耐震改築事業、特別支援教育事業(幼・小・中)、少人数指導対(小・中)		宇土小学校耐震改築事業、特別支援教育事業(幼·小·中)、少人数指導対策事業(小·中)		
		1,412 (12)	治山施設災害復旧事業		
公	債	費	2,009,873 (1,983,417)	元金、利子	
諸	支 出	金	1 (1)	土地取得費	
予	備	費	20,000 (20,000)		

◆平成22年度宇土市一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれ7億3,656万3千円を増額し、総額を160億6,632万2千円とする。

費 目 (歳出概要)			予算額 (千円)	歳出の主なもの ()内は補正額【単位:千円】	
総	務	費 34,613 庁舎建設基金積立金(50,000)、宇土市住民に光をそそぐ基金積立金(14,743)		庁舎建設基金積立金 (50,000)、宇土市住民に光をそそぐ基金積立金 (14,743)	
民	生	費 △33,569 国民健康保険特別会計繰出金(29,758)、子ども手当費(△47,996)		国民健康保険特別会計繰出金(29,758)、子ども手当費(△47,996)	
衛	衛生費 △45,037 住宅用太陽光発電システム設置費助成金経費(10,000)、字城広域連合負担金(△56,144)		住宅用太陽光発電システム設置費助成金経費(10,000)、宇城広域連合負担金(△56,144)		
農林水産業費		業費	△12,921	中山間地域等直接払制度事業経費(△14,695)、宇土北部3期農道整備事業経費(15,500)	
商	I	費	19,859	雇用促進奨励金経費 (△1,300)、マリーナ振興経費 (18,259)	
土	大 費 12,762 臨時河川整備事業経費(20,510)、県立自然公園施設整備事業経費(21,000)		臨時河川整備事業経費(20,510)、県立自然公園施設整備事業経費(21,000)		
消	消 防 費 9,012 防災行政無線整備事業 (17,244)		防災行政無線整備事業(17,244)		
教	育	費	805,492	花園コミュニティーセンター建設事業経費 (83,880)、宇土小学校耐震補強改修事業経費 (632,624)	
災害	子復 lE] 費	△3,818	農業用施設災害復旧費(△3,818)	
公	債	費	△49,830	元金(3,670)、利子(△53,500)	

弋表質

に設置補助金の増額について。

元松市長 LED防犯灯の設置補

山村議員

防犯灯の設置促進策、

特

るまちづくりについて暮らしを守り自然を守

みんなが安心!

(愛市同友会) 山村保夫 議員

が必要である。

まちづくりについて豊かで活気あふれる

減免すると言われたのはどうするの も新規転入者には、30%の市民税を 選挙のマニフェスト、 非常にいいことだが、 け定住人口の増加に努めることは、 か、考えを伺いたい。 に対して固定資産税の優遇措置を設 山村議員 新たに住居を新築した方 公開討論会で 1年前の市長

税策については1人でも多くの方々げていた転入者に対する住民税の減 という考えからきている。しかし、 に宇土市に移り住んでいただきたい のみに、 住民税の所得割税率を特定の納税者 元松市長] 当初、マニフェストに 優遇することは、 地方税法

申請分は3分の2から4分の3にす 円に引き上げる。また、地区振興会 あたりの上限を2万円から3万5千 金を2分の1から4分の3に、一灯元松市長 LED防犯灯の設置補助

る。この場合の上限はない。



を、小学校3年生から6年生まで引回村議員 こども医療費補助の対象 き上げ、親の負担を軽減してはどう

まちづくりについて健康で安らぎのある

元松市長子育てに係る経済負担 負担はどのくらい増えるか。

検討していく必要がある。

年 軽 か。6年生まで引き上げたときの市

合、床面積120m以下の部分の固案を検討した結果、現在、新築の場 ているが、これを拡充し残りの2分 ることとした。 の1も減免し、3年間全額免除にす 定資産税を3年間2分の1に減額し

まちづくりについて快適な生活を支える みんなが便利

運行予定はいつ頃か。 から試験運行を始めたい。 山村議員コミュニティバス等 元松市長 可能であれば平成24年 0 度

まちづくりについて伝統と学びに感謝の みんなで育む!

のか。 利用者が多いが、耐震診断が済んで ならば結果と今後の対策をどうする いるのか、 元松市長 18年度に法律が改正にな 耐震診断が済んでいるの

> お、まちづくり活動助成金の新年度 くり団体、各行政区一律50万円。な 分の1以内とし、限度額は、まちづ

総額490万円を予定して

性が確保できる。24年度まで指定管 理者が管理しているので実施時期を しかし、屋根を軽くすることで耐震 14と耐震補強が必要な部位があった。 含めて耐震改修工事を行うよう検討

施政方針(第5次宇土市総合計画基本構想) について

引き上げると、年間約1000万円けて検討していきたい。6年生まで齢の拡大については、今後実施に向

助成金という形で検討してきた。 い面があることから、相当額の定住第314条の3に抵触し法的に難し

討してきた。加州出額の定住

えて、市内在住者も対象となる代替

ちづくりについ みんなで実現する

の2分の1以内10万円を上限とする。るもので、助成金の額は、対象経費 涯学習活動など住民の交流が図られ防犯・防災活動、スポーツ活動、生活動や伝統文化活動、環境美化活動、 繋がる事業を対象とする地域の宝活 財周辺の整備など地域拠点の活用に 2つ目は、 業。例として地域福祉・健康づくり 交流推進に繋がる地域内交流活動事 は2つ。まず1つ目は、地域住民 する行政区。助成対象事業メニュー 団体や宇土市嘱託員設置規則に規定 助成対象とする団体は、まちづくり と地域拠点の活用を図ることが目的[元松市長] 地域内交流活動の活性化 度は具体的にどんな内容か まちづくり活動助 助成金額は、対象経費の2 地域の名勝や公園、文化 成 金 0

営アドバイザーについて、企業誘致その他 職員研修について、農業経 課廃止について質問しました。

21年度に耐震診断を実施した。結果 り特定建設物の対象となったため、 値と呼ばれる構造耐震性指標が0 は、最も小さい耐震性能を示すIS

般質 間



22年度着手 トの進捗と成果は ス

4年間で行う重要施策

九谷議員

老人会活動支援につ

を行う。 最優先課題として早期建て替え



すぐに行う重要施策

九谷議員 て。 情報公開制度につい

九谷議員 審議会や委員会の市 ている。 情報公開コーナーの充実を図っ 積極的発信は、ホームページや 山内総務企画部長 行政情報の

導入するよう努めていく。 等も可能な範囲で市民公募制を 民公募制導入について。 山内総務企画部長他の委員会

髙木教育部長| 花園公民館は、 ついて。 九谷議員 地域活動拠点整備に

について。 策定しており、この計画に沿っ 九谷議員| 中小企業融資制度化 て、地産地消を進めていく。 下田経済部長 平成22年3月に 「宇土市地産地消推進計画」を

(無所属)

起業者まで支援の拡充を図って

下田経済部長

今後、

創業者

いて。

|髙木教育部長||今後も教育力向 上策について。 九谷議員 学力と体力の重点向 の活動の支援制度を整えた。 入者が少ない任意の老人クラブ サポートスタッフを配置し、 中田健康福祉部長 老人会活動

援にも取り組んでいく。 ついて。 九谷議員 学校施設充実対策に 上指導員等の派遣を行い教育支

基づき計画的に進めて行く。 計画策定について。 第5次総合計画及び実施計画に |髙木教育部長||優先順位決め、 九谷議員 地産地消・地産外商

九谷新吾 議員

九谷議員 市民参加の事業仕分

ついて行財政改革の施策に

けについて。

予算案に関係経費を計上し実施 していく。 山内総務企画部長 実施に向け、

これから実施予定又は実施につ 実施済み又は実施中が21項目 いて検討中が45項目となってい 着手総評は。 九谷議員 22年度マニフェスト 元松市長 66項目のうち、 既に

子ども手当法案につ

り、国会審議を、危機感をもつ してほしい」と要請を行ってお ないように国会でしっかり審議 いて市長の見解は。 九谷議員 子ども手当法案につ |元松市長||「現場に混乱が起き

て注視している。

一般質問



歴史情緒あふれる船場橋

船場橋周辺を拠点としたまちづくりを

ないか。また職員の資質向上、組織の改編等も検討すべきではある。そのため、担当係の新設

すべきではないか。

体等へ派遣研修を制度的に導入

人脈作りなどのために他の自治

| 元松市長| 市民の意見・要望等は、市役所改革やまちづくりのは、市役所改革やまちづくりのヒントになり、活かすことにしている。提案の処理担当係の新設や組織改編等は、今後の機構改革の参考としたい。また、職員の派遣研修等による人材育成は、これまで以上に必要であり、は、これまで以上に必要であり、は、これまで以上に必要であり、は、これまで以上に必要であり、した研修を計画的に実施する。



(無所属)

中口俊宏

議員

市役所改革について

見・要望及び苦情は、

処理後に

市役所に対する意

一元化し、事後に活用すべきで

たまちづくりについて船場橋周辺を拠点とし

中口議員 船場橋周辺において は、これまでに各種イベントの は、これまでに各種イベントの らも活かしきっていないのでは らも活かしきっていないのでは をできるな の一部にはコケなどが生えるな の一部にはコケなどが生えるな で危機にひんしており、周辺の 早急な対策が必要であり、また これらを活かしたまちづくりが これらを活かしたまちづくりが

|木下教育長| 船場橋や周辺の景観を守りながら、護岸の石垣崩観を守りながら、護岸の石垣崩を立て再生に努める。また景観を立て再生に努める。また景観を立て再生に努める。また景観の一部の門・塀等は現在のままの一部の門・塀等は現在のままの一部の門・塀等は現在のままの一部の門・塀等は現在のままの一部の門・塀等の樹木は樹木医による調査を踏まえて、計画を得て、文化庁の「重要伝統的建造物群保存地区」の選定を対した。

くりを進めることとしている。等歴史的資源を活かしたまちづ船場橋や史跡及び歴史的建造物重な文化財の保存を図りながら、

ワンリス)について鳥獣被害対策(タイ

制度がないことが、字城市と比 る。本市には捕獲個体の買取り 者が連携した捕獲体制を構築す は、早急に捕獲することが必要 予想される。今後の対策として 増加し、被害が拡大することが 較して、捕獲数が少ない原因の 熊本県猟友会宇土支部に委託し と宇城市より少ないのはなぜか。 ではないか、また捕獲数は昨年 額52万円であり、今後生息数が 被害は、21年度柑橘類等総被害 ひとつでもある。 ている。今後猟友会と地元農業 2229頭、宇土市が298頭 4月から1月まで宇城市 中口議員 下田経済部長 タイワンリスによる 捕獲については

元松市長 船場橋及び周辺の貴

般質



医療費の抑制が期待される複合検診

宇土市の国民健康保険への今後の取り組みは

在の繰入額を逓減させていきた 重点的に実施し、できる限り現 ある。今後は、医療費の抑制の 般会計からの基準外の繰り入れ ないことなどが要因となり、一 医療費の伸びに歯止めがかから の低下による保険税収の減少、 今般の経済情勢を反映した所得 枯渇した。現在の国保会計は、 見込みより多く、平成19年度で を増加し対応をしている状況で ため保健予防などの保健事業を



策について国保財政の健全化対

行って来たが、医療費の増加が 入れを増額する方向なのか。 るが、今後、国保特会への繰り を増やすことは一つの手段であ ために、基金からの繰り入れを ために、一般会計から繰り入れ 樫﨑議員 元松市長 国保税を低く抑える 国保税を低く抑える

担の増額を求めているのか。県 るのか。 議会議員に要請される予定があ 樫﨑議員 全国市長会で国保負

も強く要望していく。また同時 置を講じられるよう、これから 会を通じて、国は十分な財政措 全な運営を図るため、全国市長 きたものである。国保制度の健 度を支える重要な役割を担って 元松市長 国保は国民皆保険制

カード」の配布、

「ジェネリッ

の「ジェネリック医薬品希望 啓発の一環として、被保険者へ 力を得て、ジェネリック医薬品

(無所属)

県議会議員はもちろん、

地

樫﨑政治 議員

げするのか。 樫﨑議員 いと考えている。 今後、 国保税を値上

情勢等を見極め、第三者機関で ている。 なければならない問題だと考え 会とも相談しながら慎重に進め ある国保運営協議会の意見や議 築しようとする国の動向や経済 都道府県単位の高齢者国保に構 後期高齢者医療制度を廃止し、 方については、平成26年3月に 元松市長 今後の保険税のあり

た、平成23年度から医師会の協 げていきたいと考えている。ま れることで医療費抑制へとつな 療あわせて、保健予防に力を入 び各種検診の受診率向上、保健 費の抑制に努める。特定健診及 まずは、年々増加している医療 これにより、早期発見・早期治 係と健診推進係の2係体制 保健センターに新しく健康指 を増員し、平成23年4月からは 指導の充実を行うため、保健師 元松市長 「健康づくり課」を立ち上げる。 再建の方策として、

費軽減対策を聞かせてもらいた 樫﨑議員 えている。 を持っているのか。また、 の増額を要望していきたいと考 方6団体とも連携し、 どのような再建方策 国庫負担 医療

平成 23 年 5 月 15 日

己負担差額のお知らせ」を通知 ク医薬品に切り替えた場合の自

する事業を開始する予定である

般質



ア体験)

みんなで支えあう地域社会に

ついて。

どの生活支援サービスの充実に の地域における外出・買い物な

きたい。 は、今後、総合的に検討してい 又、生活支援サービスについて くことは必要だと考えている。 活動しやすい環境を整備してい 那須福祉課長民生委員等が、 つ病など弱い立場の人に手を尽 芥川議員| 児童虐待、DV、う

もに、関係者の意識啓発と連携 強化に努めていきたい。 相談しやすい体制を進めるとと 相談窓口の周知徹底などにより 早期発見、早期対応を図るため、 芥川議員| ニート、引きこもり

などの若者を総合的に支援する

めていきたいと考える。

中川子育て支援課長 くす地域づくりについて。

虐待の



支えあう地域社会づ

ネットワークの強化や、高齢者 芥川議員 高齢者の地域見守り

住民サービスについて

コンビニ交付取扱いへの検討を カード取得数に応じた段階で、 カードの周知に努め、市民の **益田市民環境部長** 今後、住基 交付取扱いは出来ないのか。 こでの住民票や印鑑証明書等の 促進し、利便性を考えたコンビ

検討していきたい。 那須福祉課長 先進地を参考に 支援サービスができないか

スができないか。

た困り事に対応する支援サービ

|芥川議員| 高齢者のちょっとし

(公明党)

芥川幸子

芥川議員

合併処理浄化槽にお

について生活排水処理の推進

体制の強化について。 対応を検討していく。 れた「子ども・若者ビジョン」 中川子育て支援課長 国、県の動きを注視しつつ 国で示さ

行いたい。 芥川議員 住基カードの発行を

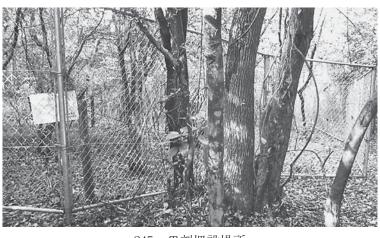
教育行政について

徒の自主的な学習をサポートす 取り組みを市内全小中学校に広 業に関するモデル校」としての る推進事業ができないか。 小学校が県指定を受けている 高木教育部長] 今年度、宇土東 芥川議員 基礎学力向上システム推進事 土曜日等に、 児童生

国、県及び市でそれぞれ1/3 964人で、29・9%の設置率。 点検への補助金制度の市の考え 点検について。又法定及び保守 金制度については、実施してい を負担している。点検への補助 について。 ける対象人数、設置率、 益田市民環境部長 対象人1万 補助金、

する全国の自治体の動きも注視 70・3%で、生活排水対策に関 率と普及促進について。 しながら、整備に取り組んでい 久多見建設部長 |芥川議員|| 下水道区域内の接続 普及率は、

FIZ.



T剤埋設場所

美しい地球と未来を子供たちに

イオキシンの撤去要毒山麓に埋設された

藤井議員

完全撤去を求めてい





通貨の発行についてプレミアム付き地域

藤井議員

が主体となって市が助成する形 県内では、商工会、商工会議所 は商品券は発行していないが、 物難民を出さない為にもどうし 業効果はあると考えているので で発行し成果を上げている。事 値を付けて発行できないか。 える商品券を行政として付加価 てもやらなければならない。一 下田経済部長 現在、商工会で つの方法として、地元だけで使 商店街活性化は、

を求めていただきたい。 やったこと。引き続き完全撤去 は、汚染防止対策義務が規定し 特別措置法で国、県、市町村に てある。これは、国の機関が

関と協議していく。 ができるよう市商工会、 商業者、

消費者へ広く利益配分

関係機

対して完全撤去を求めて行く。 益田市民環境部長一今後も森林 林野庁、農林水産省に

(無所属)

援についてその家族に対する支認知症・徘徊老人と

藤井慶峰

月24日、①環境汚染されないよ について。以上三点について要 ②早期の完全撤去が困難な場合 た。との回答があった。 会で異常がないことが確認され て全国的な調査を行い専門委員 ②昭和59年から平成11年にかけ うに引き続き保全管理に努める。 望書を提出した。その結果、12 条件である処理技術の進捗状況 の実施について。③完全撤去の は、定期的な土壌及び水質検査 理局長宛に①完全撤去について。 日及び12月8日付で九州森林管 るが12月議会後の経過はどうか 益田市民環境部長 昨年11月30

|藤井議員| ダイオキシン類対策

ないことがある。徘徊老人等に 政で捜索活動をしなければなら **小明になって、警察や消防、** 藤井議員 毎年、 高齢者が行方

助できないか。 六千円前後だが、 平成21年度に認 行政として補 早期発見できる。

初期費用

を持っていただくことによって

GPS機能の付いた携帯電話等

効だが介護保険の対象ではない。 を得て認知症支援体制を構築し りを構築した。各種団体の協力 ターで地域のネットワークづく が委託している地域包括セン 知症支援体制強化を図る為に市 他市町の状況を踏まえて検討し ている。GPS機器の効果は有 前田保険課長

らず、宇土市だけでも是非やっ 思うが、認知症の方々が常に身 藤井議員 ていただきたい。 **元松市長** 確かに効果はあると 他市町の状況に関わ 介護

般質



コミュニティバス

情報公開、 農商工連携、 ニティバス Ξ

が、現状はどうか。 の移住に大きな障壁なると思う がある。 を参考に、 山内総務企画部長 整備がない。これは都市部から ことができる光ファイバー回線 ハイビジョン映像と同等に見る ンターネットの利用で情報格差 |野口議員||宇土市の東西で、 網津校区より西には、 調査検討する。 網津地区 イ 0

部と網田地区全域などは、

超

多くの市民のご意見を反映でき の再編に向け準備を始める予定 ティバスの導入を含め公共交通

るように工夫をしたい。



ネット格差について 情報公開とインター

とがない。今後先進自治体など チューブ、ユーストリーム等の の情報公開について、 活用した情報公開は検討したこ インターネットの高機能技術を 利用をどう考えているのか。 野口議員 山内総務企画部長 字土市は、 インターネット利用 ユー

産業化)、グリーンツーリズム、 が、宇土市は農商工連携 識をもっているか。 スローフード等についてどう認 で相当の予算をつぎ込むようだ すバイオマス利用に、国は10年 野口議員 |下田経済部長| バイオマスとは 農山漁村活性化を促 (6次

リズムは、「見る・食べる・遊 取り組みの一つ。グリーンツー は、地域ビジネスの創出を促す 3次産業を連携する6次産業化 性資源」のこと。1次、2次、 再生可能な、生物由来の有機 の観光から、 地域の暮らし

その検討はしているか。

元松市長

来年度は、コミュニ

会いタクシーが良いと思うが、

ニティバスか、もっと小さい乗

宇土駅のバス路線は、コミュ

(無所属)

野口修 議員

回線(メタル回線)を利用して 線)ではなく、以前からの電話 いるのが現状である。 高速通信回線(光ファイバー回

バイオマス活用と農商 工連携強化について

比較すると、利用者は 加。このうち、宇土駅発赤瀬経 と22年度比では553万円の 野口議員 額は130万円増加している。 155人減少した一方で、 由三角行きの20年度と22年度を 22年度2、506万円。 ここ3年の内容はどうか。 野口議員 万円、21年度1、814万円 市助成額は、20年度1、 山内総務企画部長 路線バスの 赤字の大きい三角駅 路線バスの助成 20年度 9 5 3 助成 13 額

新しい観光の取り組みである。 を学ぶ「語る・作る・学ぶ」の

いてミュニティバスにつ路線バスの現状とコ

的質



教育立市を掲げる宇土市 (通学風景)

場外舟券発売所設置に反対を/教育立市のまちづくりとギャンブルは両立しない

画されている。子どもを含め多

装し競艇の場外舟券発売所が計

ムセンターサンコーの一部を改

福田議員

宇土シティ内のホー

めなければならないが、課題も されており、これは重く受け止 ボートピア設置の要望書が提出 されると考えている。 影響や防犯対策等について懸念 設置にあたっては、青少年への も達も多く集まり、ボートピア 元松市長 二つの行政区より



対を場外舟券売り場に反

を図れ と地域経済の活性化地元業者の仕事確保

費の一部を自治体が助成し、 助成制度をつくるべきではない 多くの自治体で住民が自宅のリ 本市においても住宅リフォーム を図る取組みが広がっている。 大に繋がり、地域経済の活性化 中小業者の仕事確保と雇用の拡 宅の改善を容易にするとともに フォームを行う場合に、その経 におかれている。こうした中で 小業者は仕事がなく厳しい状況 福田議員 不況が長引く中、 住

は両立しない。教育長も市長も

反対すべきではないか。

|木下教育長|| 宇土シティは子ど

市のまちづくり」とギャンブル

題である。市が掲げる「教育立

少年への影響、交通渋滞など問 ない。市のイメージダウンや青 部に舟券発売所設置など許され くの市民が集まる市街地の中心

いては、 業活性化緊急基盤整備事業」、 農林水産事業においては、「農 元松市長 .関わる整備事業を行うため、 本年度, 地域経済活性化につ 緊急経済政策

(日本共産党) 福田慧

議員

たくさんあり、 慎重に検討した

中できる環境を作るために早急 で、このような事例があっては ている。本来勉学に適した環境 中症の症状を訴えた生徒が小学 夏、教室内で異常高温により熱 が増加している。宇土市でも昨 を設置すべきではないか。 ならない。子ども達が勉強に集 でなければならないはずの学校 校で5名、中学校で1名を数え 活動中に熱中症となる小中学生 くなる中で、学校の授業中や部 福田議員 に小中学校の全教室にエアコン 夏の猛暑が年々厳

今後この制度を精査し検討して 交付金事業」と大型の補正を行 フォーム助成制度については、 いきたい。 い事業を進めている。 土木課では「社会資本整備総合 住宅リ

設置を小中学校にエアコン

及び財政当局と十分に協議を行 努めるべきとあり、今後、 びに管理運営体制の整備充実に 集を行いながら検討する。 守るため、学校施設及び設備並 法」では、児童生徒等の健康を 木下教育長「学校保健安 い、他の市町村の動向や情報収 全

民

総務企画部 市民環境部 その他を所管

建 設

経済部

建築部

農業委員会を所管



野添正利委員長

との答弁がありました。 後このような問題を起こさないためにも の賠償額を減額することが出来たが、今 間のリース代金等からも、約540万円 委託業者との信頼関係を図っていきたい お互いのチェック機能を強化するなど、 害賠償額となった。また、さらに、5年 額が提示されていたが、交渉を重ねた結 委託業者の賠償問題についての質疑に対 誤送付問題で市民に多大な迷惑をかけた まず、インフルエンザ無料クーポン券 論議された主なものを報告いたします 30万円ほど上積みし、約80万円の損 執行部から、当初50万円ほどの賠償

また、全国の先進事例を参考に協議して いのではないかとの質疑に対し、執行部 されているが、路線バスとの関係は難し 者の活用も視野に入れて検討するよう要 タクシーを併用するなど地元タクシー業 いきたい。との答弁がありました。さら から、市民や学識経験者の意見を聞き、 確保政策における計画策定委託料が計上 に、委員から、コミュニティバスと乗合 次に、コミュニティバス等の生活交通

> に限られるとの答弁がありました。 県庁での交付申請は特別な事情がある方 備期間とし、申請受付開始は平成24年度 疑に対し、執行部から、平成23年度を準 市の窓口で出来るようになるのかとの質 からの予定である。また、これに伴い、 次に、パスポート交付申請は何時から

縮減に努めるよう要望がありました。 務内容や業者選定の精査を行い委託費の は、予算額が年々増加しているので、業 その他、宇土市長等の給与の特例に関 次に、清掃収集業務委託経費について

副市長の給料を減額する割合はあくまで した。 号は賛成多数で原案のとおり可決致しま 及び、議案第17号は全会一致、 すが、本委員会に付託を受けました議案 ではないかと委員から指摘がありました。 減額した部分とは切り離して説明すべき も10%なので、前回のマニュフェストで エンザ無料クーポン券誤送付問題で市長 する条例の改正案については、インフル については、議案第2号から議案第6号、 以上が、論議された主な内容でありま 議案第23

申し上げます。 次に、請願・陳情につきましてご報告

制改正に関する提言については、 致で不採択と致しました。 平成22年 陳情第5号 平成23年度税 全会

との要望がありました。

委員から、

市が設置を計

道路の整備計画を立ててもらいたい 表する観光地であるので、アクセス 路の整備が遅れている。宇土市を代 使用されているが、景勝地までの道 岸は宇土市の顔として、様々な形で 設整備事業に関連して、おこしき海

使用できる環境を整備して、

宇土

インターネット

している「情報発信館」

の内容に

論議された主なものを報告いたし

山村保夫委員長

これから、空き店舗等の情報を発信 県内では熊本市に集中していますが、 情報サービス事業とはどういったも 例の適用対象施設に新たに加える、 考えています。との答弁が執行部 コールセンター等を想定しています。 の雇用が見込めるということで、 のかとの質疑に対し、100名規模 し、積極的な誘致活動を行いたいと 次に、委員から、企業振興促進

ば改修を行うように要望がありまし ての橋の調査を済ませ、必要があれ こってからでは遅いので、早急に全

次に、委員から、県立自然公園施

これに対し、委員から、

事故が起

との答弁が執行部からありました。 てて改修を行う橋が数箇所あります する橋はありません。年次計画を立 現在までのところ、早急に改修を要 年度も引き続き調査を行いますが、 らいあったのかとの質疑に対し、 その結果、改修が必要な橋はどれく 画で老朽化の調査を行っているが、 まず、委員から、橋の長寿命化計

べて原案のとおり承認及び可決致し りますが、 した議案については、全会一致です 以上が、 本委員会に付託を受けま 論議された主な内容であ

らありました。

りました。

うなスペースとするように要望があ

手続き無しで、

気軽に利用できるよ

民の方が集まる場所として、 ました。これに対し、委員から、

面倒な 市 ŋ るスペースとしての活用も予定して 方が参加されるイベントを開催でき

います。との答弁が執行部からあ

りサポートセンターとして、

市民

位置付けています。また、まちづく の観光・物産情報を発信する拠点と



芥川幸子委員長

ます。
論議された主なものを報告いたし

まず、委員から電動アシスト付自 なこと。また、安全に運転していた なこと。また、安全に運転していた なこと。また、安全に運転していた ること。また、安全に運転していた ること。また、安全に運転していた なことが重要であると考え、市が だくことが重要であると考え、市が だくことが重要であると考え、市が とを条件にしたいと考えています。 との答弁がありました。

を進めていただくことを考えています。すでに地域の代表者の方々等には、説明会を開催し理解をいただいは、説明会を開催し理解をいただいは、説明会を開催し理解をいただいは、説明会を開催し理解をいただいます。可質が悪いということがありますの質が悪いということがありますので、平成23年度は試験的に50㎡程度で、平成23年度は試験的に50㎡程度で、平成23年度は試験的に50㎡程度を予定しています。本格実施は平成24年度を考えています。との答弁がありました。

次に、委員から夜間保育所の認可次に、委員から夜間保育所の認可あるに関連して、今回のように認可あるに関連して、今回のように認可あるに関連して、今回のように認可あるに関連して、対して、執行部は十二分いは議会に対して、執行部は十二分いは議会に対して、執行部は十二分いは議会に対して、執行部は十二分で是非やっていただきたい、また、で是非やっていただきたい、まず、で是非やっていただきたい、また、で是非やっていただきたい、また、

数で原案のとおり可決いたしました。号は全会一致、議案第23号は賛成多18号、21号、24号、27号、29号、31した議案第7号、8号、14号、17号、りますが、本委員会に付託を受けまりますが、本委員会に付託を受けまりますが、本委員会に付託を受けまりますが、本委員会に付託を受けまりますが、本委員会に付託を受けました。

地域高規格道路促進等対策特別委員会



浜口多美雄委員長

申し上げます。
お行部から説明がありましたのでご報告について、執行部から説明がありましたのでご報告について、執行部出席のもと開催し、現在までの取り組み状況は一つである。

る。地権者は、5名増え、8名となっている。4、200㎡増えて、112、900㎡となってい権者数が確定したため、宇土市側の全体計画面積が権力数が確定したため、宇土市側の全体計画面積がは、5名増え、8名となっている。

りました。

ベースともに前回同様となっている。 をなっている。熊本市側では、面積ベースで4名増 となっている。熊本市側では、面積ベースで4名増 また、用地取得の状況については、宇土市側は、

51億円」程度となっているが、熊本河川国道事務また、平成23年度の予算については、「1億円かで、平成23年3月に契約予定である。 で、平成23年3月に契約予定である。

ありました。

「関収、及び道路工事が予定されている。との説明が会の検討を受けての道路詳細設計、城塚地区の用地会の検討を受けての道路詳細設計、城塚地区の用地

はっきりわからない状況である。

所の担当者に確認しても、箇所付けの金額は、まだ

から変わっておらず、城塚から網田地区の環境調査次に、「宇土道路」についてですが、前回の報告

設計が予定されている。との説明がありました。境調査、及びその調査結果を受けての道路予備修正大で1億円程度で、引き続き城塚から網田地区の環が行われている。平成23年度の予算については、最が行われている。

以上の報告を踏まえ、委員会で論議されました、

徐々に進んでいくものと考えている。との説明があい場合で進んでいくものと考えている。との説明があい、執行部から、用の進捗見込みについて質疑があり、執行部から、用の進捗見込みについて質疑があり、執行部から、用の進歩見込みについて質疑があり、執行部から、用の進歩見込みについて質疑があり、執行部から、用をな内容をご報告いたします。

査を実施するように要望がありました。 が湧いてきたという話を聞いたので、地下水脈の調 また、委員より軟弱地盤対策等により、畑から水

ことを、全会一致で決定いたしました。国会議員に対しての要望活動を、より効果的に行うで実施してきました、国土交通省本省、地元選出ので実施してきました、国土交通省本省、地元選出のにといたしまして、これま

をめざして、頑張ってまいりたいと思います。 も、昨年度と同額の総額17億円と減額されることな も、昨年度と同額の総額17億円と減額されることな も、昨年度と同額の総額17億円と減額されることな 地元の声が届いた成果であり、今後も官民一体と 地元の声が届いた成果であり、今後も官民一体と が一次できたということは、要望活動による は、要望活動による は、要望活動による は、要望活動による は、要望活動による

会

決 審 查 特 別 委 会



西山宗孝委員長

別委員会に付託されました。 算の認定」に係る議案が決算審査特 出決算、及び各特別会計歳入歳出決 平成21年度宇土市一般会計歳入歳 平成22年第4回定例会において、

ましたので、その結果の概要を報告 日)し、次の点を基本に審査を行い を開催(平成23年1月12日~2月23 その議案について、7回の委員会

的に行われ、 れたか。 予算の執行は、合理的かつ効率 所期の目的が達成さ

2 繰出・ 繰入は計画どおり行われ

3 見込んだとおりの行政効果を上 げることができたか。 総合的な財政力がどのように変

摘事項が、次年度の予算編成に充 分に反映されているか。 前年度決算審査特別委員会の指

前年度末より2億1、 071万円の減少。各種基金の年度 427万円で前年度末より1億5、 2・2ポイント減少になっており、 ト減少、経常収支比率90・7%で 比率14・5%で前年度より1ポイン 末現在高は16億4、845万円で、 ここ数年改善傾向にあります。

のための基準外繰出金が含まれてお 国保特別会計に対しては赤字補てん 字。一般会計から6会計に10億7、 万円で差し引き5、916万円の黒 776万円、歳出総額は8億860 184万円が繰出されておりますが 特別会計の歳入総額は88億 6

(歳入確保と予算執行)

歳入総額は前年度に比べ13・3%

(決算の概要)

億5、173万円の黒字です。 す財源を差し引いた実質収支は、 275万円の黒字。翌年度へ繰り越 318万円で形式収支は9億5、 593万円、 一般会計歳入総額は162億8、 歳出総額は153億3 6

増加となっています。 また、起債現在高は170億1、 その結果、財政指標は実質公債費 032万円の

欠損額は4、995万円でした。 3 億 7、 い財政状況の中で、適正な運用が行 れ対策が講じられていますが、更な 済額は、5億1、994万円、不納 3、957万円、特別会計の収入未 る改善に努めるよう指摘しました。 予算執行については、極めて厳し いずれも、関係課においてそれぞ 次に、一般会計の収入未済額は、 396万円、不納欠損額は

庫支出金全体として、対前年度比で おり、その主な要因は、国の経済危 413万円増加したことです。 機対策による国庫支出金の増で、 18億9、260万円の増加となって 1 2 3 . 7 % 金額で17億 8 玉

した。 現年度課税分に対する収納率こそ 対し6、632万円の減少となりま 98・33%と上昇し目標数値を上回り ト減少し36・0%になっております。 増加したことにより、4・4ポイン 自主財源比率は国庫支出金が大幅に べ5千42万円の増額となりましたが ましたが、経済情勢の不況により個 人所得が低迷した影響で、前年度に また、自主財源の柱である市税は、 自主財源については、前年度に比

> る事業もあり、 達成したものと認められました。 は、さらに精査するよう重ねて指摘 われており、 しました。 しかし、多額の不用額を出して おおむね所期の目的 予算編成に当たって

です。 を高め、活力ある自治体を創るため 質の健全化に努め、創造性・自主性 の施策の展開が可能となるような地 方財源の充実確保を図ることが課 ている現状にあって、経済社会の構 した行財政改革に取り組み、財政 た状況下で、地方公共団体は、 造改革が求められています。こうし 国・地方ともに巨額の債務を抱え

たしました。 財政改革を推進し、財政運営の健全 原案のとおり認定することに決定い 議案第86号については、 果、付託されました議案第76号から 化に努めていただきたいと思います。 応するためにも、引き続き「第6次 基盤整備等の住民ニーズに適切に対 行財政改革」に基づき、徹底した行 本委員会は慎重に審議を重ねた結 本市においても、福祉政策や都 全会一致で

平成23年第1回宇土市議会定例会議決結果一覧(平成21年度決算)

【市長提出議案】

議案番号	件 名	提案月日	議決月日	議決の結果
第76号	平成21年度宇土市一般会計歳入歳出決算の認定について	12月6日	3月2日	原案認定
第77号	平成21年度宇土市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	"	"	"
第78号	平成21年度宇土市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	"	"	"
第79号	平成21年度宇土市北段原土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定に ついて	"	"	"
第80号	平成21年度宇土市奨学基金特別会計歳入歳出決算の認定について	"	"	"
第81号	平成21年度宇土市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	"	"	"
第82号	平成21年度宇土市老人保健医療特別会計歳入歳出決算の認定について	"	"	"
第83号	平成21年度宇土市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	"	"	"
第84号	平成21年度宇土市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	"	"	"
第85号	平成21年度宇土市漁業集落排水施設整備事業特別会計歳入歳出決算の認定 について	"	"	"
第86号	平成21年度宇土市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	"	"	"

平成23年第1回宇土市議会定例会議決結果一覧

【市長提出議案】

番号	件名	議決の結果	付託委員会
第1号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第8号 平成22年度宇土市一般会計補正予算(第5号)について	原案承認	経済建設
第2号	宇土市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決	総務市民
第3号	宇土市長等の給料の特例に関する条例の一部を改正する条例について	"	総務市民
第4号	宇土市政治倫理条例及び政治倫理の確立のための宇土市長の資産等の公開に関する 条例の一部を改正する条例について	"	総務市民
第5号	宇土市住民生活に光をそそぐ基金条例の制定について	"	総務市民
第6号	宇土市税条例の一部を改正する条例について	"	総務市民
第7号	宇土市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	"	文教厚生
第8号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	"	文教厚生
第9号	宇土市農業施設等災害復旧事業分担金徴収条例の一部を改正する条例について	"	経済建設
第10号	宇土市企業振興促進条例の一部を改正する条例について	"	経済建設
第11号	宇土市中小企業の店舗改装等近代化に対する整備資金利子補給条例の一部を改正する条例について	"	経済建設
第12号	宇土市就業改善センター条例の一部を改正する条例について	"	経済建設
第13号	宇土市土地取得特別会計条例を廃止する条例について	"	経済建設
第14号	宇土市公民館条例の一部を改正する条例について	"	文教厚生
第15号	字土市道路線の廃止について	"	経済建設
第16号	字土市道路線の認定について	"	経済建設
第17号	平成22年度宇土市一般会計補正予算(第6号)について	"	総務市民 経済建設 文教厚生
第18号	平成22年度宇土市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	"	文教厚生
第19号	平成22年度宇土市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)について	"	経済建設
第20号	平成22年度宇土市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)について	"	経済建設
第21号	平成22年度宇土市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	"	文教厚生
第22号	平成22年度宇土市水道事業会計補正予算(第3号)について	"	経済建設
第23号	平成23年度宇土市一般会計予算について	"	総務市民 経済建設 文教厚生
第24号	平成23年度宇土市国民健康保険特別会計予算について	"	文教厚生
第25号	平成23年度宇土市簡易水道事業特別会計予算について	"	経済建設
第26号	平成23年度宇土市北段原土地区画整理事業特別会計予算について	"	経済建設
第27号	平成23年度宇土市奨学基金特別会計予算について	"	文教厚生
第28号	平成23年度宇土市公共下水道事業特別会計予算について	"	経済建設
第29号	平成23年度宇土市介護保険特別会計予算について	"	文教厚生
第30号	平成23年度宇土市漁業集落排水施設整備事業特別会計予算について	"	経済建設
第31号	平成23年度宇土市後期高齢者医療特別会計予算について	"	文教厚生
第32号	平成23年度宇土市水道事業会計予算について	"	経済建設
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	原案答申	
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	"	

【報告】

報告番号		件名
第1号	専決処分の報告について 専決第24号	計 損害賠償額の決定について
第2号	専決処分の報告について 専決第26号	計 損害賠償額の決定について
第3号	専決処分の報告について 専決第23号	テ 訴えの提起について
第4号	専決処分の報告について 専決第25号	テ 訴えの提起について
第5号	専決処分の報告について 専決第1号	テ 訴えの提起について
第6号	専決処分の報告について 専決第2号	テ 訴えの提起について
第7号	専決処分の報告について 専決第3号	テ 訴えの提起について
第8号	専決処分の報告について 専決第4号	テ 訴えの提起について
第9号	専決処分の報告について 専決第5号	テ 訴えの提起について
第10号	専決処分の報告について 専決第6号	テ 訴えの提起について
第11号	専決処分の報告について 専決第7号	テ 訴えの提起について

【請願・陳情】

	受理番号	陳 情 の 件 名	付託委員会	議決結果
陳情	平成22年 5	平成23年度税制改正に関する提言について	総務市民	不採択

認知症サポーター養成講座を開催

3月17日、宇土市議会棟全員協議会室で「認知症 サポーター養成講座」が開催されました。

これは、認知症を正しく理解し、地域で認知症の人やその家族を温かく見守る「認知症サポーター」を増やすことで、誰もが安心して暮らせるまちを市民の手でつくっていくことを目的として行われているものです。

講座では、認知症についてのDVD上映の後、キャ



ラバンメイトの 講話があり、参 加した11名の議 員は認知症への 理解を深めまし た。

議会を傍聴しませんか

市議会では市民の皆さんの生活に密着した問題が審議されています。身近な市政を知るために、ぜひ一度傍聴してみませんか。

- ◇議会傍聴席は市役所議会棟2階の議場内にあります。 傍聴席入り口で必要事項をご記入のうえ、席へお着 きください。また、委員会傍聴については議会事務 局にて受付をお願いします。
- ◇本会議の傍聴席の定員は50人です。
- ◇委員会傍聴については、委員会室の広さ・内容等に より人員を制限する場合がありますのでご了承くだ さい。
- ◇原則として、本会議、委員会は午前10時開会ですが、議事の都合で変更する場合があります。
- ◇本会議傍聴の際は、傍聴席入口に掲示の注意事項を お守りください。

編集後記

今回の東日本大震災はM9.0という未曾有の巨大 地震でした。被災された皆様にお見舞い申しあげま すとともに、お亡くなりになられた方々とご遺族の 皆様に謹んでお悔やみ申しあげます。

市民の皆様には、義援金・支援物資の募集や被災 者受け入れの住宅の確保などでご協力を賜り厚くお 礼申しあげます。

これから議会でも今回の震災を教訓として、本市の防災計画の見直しに取り組んで参りたいと思います。

編集委員

委員長/杉本信一 副委員長/芥川幸子 委 員/野添正利 山村保夫

市議会からのお知らせ

市のホームページで、本会議(定例会・臨時会)の会 議録を公開しています。

[アドレス]

http://www.citv.uto.kumamoto.jp/

本会議の会議録(冊子)は、市情報公開コーナー(市 役所1階ロビー)、市立図書館で閲覧できます。

なお、平成23年第1回定例会の会議録は、平成23年第 2回定例会以降に閲覧可能です。

◎生中継(ライブ放送)

議会開会中、本会議(定例会・臨時会)の模様を生中継で市役所1階ロビー・網津支所・網田支所に設置されているテレビモニターでご覧になれます。

[お問い合せ] 市議会事務局 0964-22-1111 内線2611